

●主な活動の記録 (10月~12月)

10月2日(水) イベント準備 奈良阪元明天皇陵横県有地

5日同地で開催予定のイベントに向けての会場整備。6名で主に草刈り、アクセスの整備作業を実施。この日、先日蜂にやられた者も参加、無事が確認出来一安心。作業は午前中で終了。午後矢田山にまわり、イベント用の材料用具を揃えて、車に積み込み解散。

10月5日(日) 里山の森林整備と森の恵みを楽しむ会 奈良阪元明天皇陵横

恒例となった奈良市地球温暖化対策地域協議会との共催による同会、公募による一般参加者の親子連れ35名の参加を得て開催。開会式での趣旨説明に次いで、早速森林作業体験のため、ヘルメットと竹ノコギリを着用し現場へ。本日の作業、竹の除伐にかかる前に、現地の説明、竹の特性、注意事項等を話した後、家族単位でグループを組み、それぞれに指導にクラブ員がつき、竹林へ。中には初めてノコギリを使う子もいて、使い方を教えながら作業を進めた。他の竹に引っ掛かり、引き倒すのに手こずる場面も。午後のクラフトの材料として、1~2mに小口切りし駐車場へ運ぶ。この間、事務局の方々に準備願ったバームクーヘンづくり体験。素地に卵を割り入れ攪拌、太い竹にかけ回しをしながら炭火の上でゆっくり焼いていた。仕上がりは、昼食後のデザートとして楽しみを残し、次の栗拾いへと移動。配られた竹串を使って、いがからクリを取り出し次々と拾い集めた。栗をもって再度駐車場へ。早速湯がいてもらうことに。茹でグリは家族ごとに分けて持ち帰る。

昼食後、生ゴミコンポストの紹介、地球温暖化に関する説明の紙芝居を見ながら聞く。最後のイベント、竹を使ったクラフト体験。けん玉・こっぼり・竹トンボ・花器等の見本を参考に、皆の思い思いの作品作りに小一時間励んで終了、解散。天候にも恵まれ参加者は大いに楽しんだようで、また来年もと言いながら帰路についた。



竹伐り体験



バームクーヘンづくり



クリ拾い



紙芝居



竹クラフト



参加の皆さん

10月16日(土) 環境出前講座 佐保川小学校放課後子ども教室

児童43名、先生4名、保護者20数名、当クラブ員7名参加で昨年に引き続き実施。本年は、低学年と中高学年、日を変えて、この日は1~2年生のみ。ホールに集合した児童に、クラブ紹介と、光合成を中心とした森の働きの話の後、各10名前後のクラス別に4教室に分かれてクラフト作り。

最初は、全員ジージーゼミづくり。手順を説明しながら作っていった。2年生はさすが一日の長あり、時間をあましたので、次の作品、竹笛づくりに挑戦。一部鳴ならないものもあり、苦戦しながらもほぼ時間内に完成。ただ一年生は、ハサミの使いかたもおぼつかないのもいて、時間がかかったが、なんとか時間内に作り終えた。手の早い子はもう一つと不満な様子ながら、又来年にと納得。今回多くの保護者に動員

をかけていただき、ほぼ児童二人に保護者一人が手伝ってもらい大助かり。子供たちはそこそこ楽しんでくれた模様。

10月26日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

当クラブは、10月から新しい活動年度を迎えた。最初の定例活動日である12日は、生憎の台風の影響で、残念ながら中止となった。したがってこの日が初めての定例活動。14名が参加。朝会で担当者による本日の作業、「作業道の整備、植栽地の下草刈り、実りの秋の収穫」について説明の後、必要な道具類を準備した。先月28日の活動日、頂上展望台の「永遠の森」で草刈り作業中に3人がスズメバチに襲撃され、救急車に出動してもらった事故があったが、季節柄ハチに注意するとともに「安全第一」で作業することを申し合わせ、作業地の「みんなの森」へ向かった。今回の台風の雨で路肩が崩壊しているところがあちこちに見られ、通行に支障をきたすため作業道の手直しをした。柿の植栽地を中心に下草刈りを行い、あわせてたわわに実った柿の収穫。今年は当たり年なのか、かなりの収穫があった。

午後には、11月末から12月にかけて伐採する”シイタケ原木”を確保するため下見を行い、目印付けを行った。また女性の皆さんは、収穫してきた秋の恵みの柿を、甘がき・渋柿それぞれ種類別に選別、希望者が持ち帰りやすいようにした。本日は事故もなく、秋の恵みに感謝しつつ、理事長の締めめの挨拶で、楽しい活動を終えた。



作業風景



柿の取り入れ



参加者一同

11月9日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

午前中、参加者全員13名で「緑の募金」公募事業、モミジ谷の整備に向かう。管理道南側の雑木林内の灌木・枯損木並びに前回予め印を付しておいた大きめの雑木、必要に応じ安全を期して、ロープ掛けをして伐倒。リョウブは、クラフト材料にするべく小口切り後搬出。午後大半は、午前引き続いての作業後、チェーンソーの整備。一部は前回取り残した秋の恵みの収穫。まだそこそこあり、皆で持ち帰る。



==作業風景==

11月23日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加15名、午前中は三手に分かれての活動。

1. 芝生広場の植栽地「平成の森」での下草刈り。この春に植栽したものだが、残念ながら6本が枯れており補充が必要。当該地は、公園造成に際し、ジャリを埋め込んだせいか、これが根付きを阻害したものである。
 2. ホダ木用原木の伐採。来春早々、しいたけ植菌のための準備。40本ほど分を伐倒。小口切りをする。
 3. 27日佐保川小学校での、環境出前講座のクラフト指導のための用具・材料の準備
- 午後、午前に続いてクラフトの準備と合わせ、見本づくりも。結構、皆童心に帰り、種々アイデア出しながら、作っていた。

一方、理事は来月開催の総会に向けての準備。議事の検討、役割分担、理事の交代等についての理事会を開催。来年度の事業計画としてメダカ池の整備につき検討。また、新年会を1月11日(土)の活動はじめを午前中として、同日の夜に開催を決定。



== “平成の森” 下草刈り作業 ==

クラフト準備

11月27日(木) 環境出前講座 佐保川小学校放課後子ども教室

先月の低学年に続いて、今回は3~5年生51名が対象。定刻にホールに集まり、クラブ紹介に続き、森の働きに関して約10分間説明。その後、学年別に4教室に分かれてクラフト指導。まず、ガリガリトンボづくり。予め本体の竹の箸に入れておいた切り込みを三角ヤスリを使って広げる作業。二人一組でやらず。意外と手間取り、力を入れすぎて折ってしまったり、削り不足でやり直しもあったが一応皆完成。早速回ることを確認し、次の作品竹の大小の輪切りを組み合わせての置物づくり。思い思いのアイデアで、竹の台の上に付けていき、更に木の実の殻やサインペンでアクセントをつけて出来上り。かなりユニークなもの散見された。時間が一時間と短く、その間に2作品作らすのは結構あわただしかったが、何とか作り終えた。



森の話



制作風景

12月14日(土) 定例活動 通常総会 矢田山遊びの森

参加18名。若手の初参加あり、メンバーの子息の友人。午後、総会が開催されるので、作業は午前中のみ。「緑の募金」公募事業、モミジ谷の整備作業、主として来春予定の植樹にむけての植栽地の整備。枯損木・灌木の処理、草刈り等。リュウブはクラフト材料にするため搬出。女性陣は、納会の餅つき準備として道具の点検。昼食後、定時総会開催。

事務局より定足数充足の確認後、副理事長挨拶、次いで議長に岡本(寿)、議事録署名人に斎藤・山本を選出し、議事次第にのっとり進める。

- ・第一号議案 事業報告
- ・第二号議案 収支報告・財産目録・貸借対照表
- ・第三号議案 次年度事業計画
- ・第四号議案 活動予算
- ・第五号議案 役員改選

以上何れも、原案通り承認された。

役員に関しては、小松理事の退任以外は重任。なお、監事に渡邊が新任。

その他、全国植樹祭参加予定の2名に対する、一部費用負担提案、活動内容に関する意見交換があつて、終了。



整備作業



事業案内板を囲んで



総会

12月21日(土) 森林作業体験と環境講座 奈良北高校

毎年実施している本イベント、今回は同校2年生の各クラスからボランティア参加と野球部員が急遽加わり、約70名の大人数。これに教職員・保護者合わせ、10名が早朝から集まり、クラブ員8名が指導にあたった。

まずグラウンド周辺の学校林(スギ)で、間伐作業体験を5班に分かれて実施。それぞれ、指導者から間伐の意義、作業要領の説明を聞き、まず安全に倒すためロープがけをして、生徒達は手ノコでかわるがわる受け口・追い口を入れ引き倒し、無事に倒れたことを確認し、枝払い・玉切りを一時間半ほどの作業。その後、場所を弓道場横の広場へ移動。

クラフトの前に、森林環境講座として、地球温暖化を中心に、森林整備の必要性・COP25 スペイン会議・日本の現状と問題点・スウェーデン女子高校生グレンタさんの活動紹介・ノーベル化学賞吉野さん発明のリチウムイオン電池による持続可能社会づくり等につき解説。

最後にミニ門松づくりを指導。数名づつがグループになって、太い竹と細い竹を切って、これに松の枝・ナンテン等を入れて出来上がり。予定の正午に終わり解散。



説明を聞く



受け口づくり



枝払い



ミニ門松づくり

12月22日(日) 納会 矢田山遊びの森

参加者22名に加え、一般参加の一家族3名。メインイベントの餅つきのため、女性陣と男性数名は、朝一番から準備に取り掛かる以外は、一月に実施予定の明治小学校での環境出前講座、クラフト指導の材料の取り揃えと炭窯周辺の整理整頓に分かれての活動。11時過ぎには餅つきの準備が出来、料理体験館に集まり、順次交替しながら撞いていき、撞き上がりを待って、皆で丸めて子餅に。今回は、古代米・ヨモギが加わり3種が出来た。

昼食には、早速できたばかりの餅の入った雑煮や安倍川を味わった。また大釜の炉で焼いたり、蒸した甘いサツマイモを賞味。

食後、片づけをやる一方、居合わせた保育園児とその保護者に、ミニ門松づくりを指導。

最後に、来年もよろしくと、それぞれ餅の入った袋をもらって解散。



クラフトの準備



餅つき風景



皆で丸める



ミニ門松づくり

